

## IV. 関係代名詞・関係副詞

関係詞と呼ばれるものに関係代名詞と関係副詞があります。ともに形容詞節と名詞節を導きます。

### 1. 形容詞節を導く関係代名詞

関係代名詞 who (whose, whom), which, that, as は、形容詞節を導き、直前の名詞(先行詞)の意味を限定します。この用法を制限用法(限定用法)といいます。

who (whom, whose), which, as には文語体ですが非制限用法(継続用法)があります。

非制限用法では先行詞の後にコンマがあります。複文ではなく重文となるので [ ] で囲みませんが、便宜的に「/」で切って示してもいいでしょう。that には先行詞の意味を限定する力があるので非制限用法はありません。

制限用法：先行詞の意味を限定する 非制限用法：先行詞を補足説明する
--------------------------------------

なお、制限用法の目的格は、前に前置詞がある場合を除き省略可能です。例文中では「(whom)」のように示しました。

英文では、「名詞+形容詞句」と同様に「名詞+形容詞節」の場合も、名詞に後ろからひつつく形容詞節を捉え、そのままの語順で理解できるようになることが大事です。「名詞+形容詞節」の部分音読が効果的です。なお、形容詞節の和訳に続けて先行詞(名詞)の和訳を読むと通常の和訳になります。

関係代名詞は、名詞の説明を後からひっつけられる便利なものと思うといいよ



大丈夫!  
↓チェック

「パソコンオタクの先生」 文脈開始

who Do you know the teacher [who wrote this textbook]<sup>A</sup>?  
その先生を知っていますか? この教科書を書いた

↓ whom の代わりに使われた who なので省略可

He is the man [(who) we <saw> in the cafeteria yesterday]<sup>A</sup>.  
彼は あの人は 人です 私達が昨日食堂で見かけた

- 目的格の関係代名詞が省略されている場合は、他動詞の目的語が省略されており、他動詞の他動性で先行詞にかかっていると理解できるので、そのつながりを < > を追加して明示する。

He was talking with Ms. Sato, **who** is a Moodle administrator.  
彼は佐藤さんと話していました 彼女は Moodle の管理者です

**whose** Once in his class, the students [**whose** names were called]<sup>A</sup>  
came up to his computer on the teacher's desk.  
授業中のある時 **学生達**は 自分の名前が呼ばれた  
教卓の上の彼のコンピュータのところに行きました



It was a computer [**whose** speed was much faster than ours]<sup>A</sup>.  
それは**コンピュータ**だった その(処理)速度が我々のものよりずっと速い

The teacher, **whose** major is English, is a computer nerd.  
その先生 彼の専門は英語なのですが コンピュータオタクです

**whom** He is a man [**with whom** I want to talk about computers]<sup>A</sup>.

He is a man [**(whom)** I want to talk about computers with]<sup>A</sup>.  
彼は**人**です 私がいっしょにコンピュータについて話したい

His wife, **whom** I met at a convenient store, was very friendly.  
彼の奥さん コンビニで会ったのですが とても気さくでした

**which** This is the smartphone [**[with which]** we took a picture]<sup>A</sup>.

This is the smartphone [**(which)** we took a picture [**with**]<sup>A</sup>.  
これは**スマホ**です 私達が写真を撮った (撮るのに使った)

This is the picture [**(which)** I took together with her]<sup>A</sup>.  
これが**写真**です 彼女といっしょに撮った

She allowed me to do so, **which** was quite a surprise. 先行詞は節  
彼女はそうすることを許可した それはかなりの驚きでした

**that** She is the most affable person [**(that)** I have ever met]<sup>A</sup>.  
彼女は 最も気さくな**人**です 私が今までに会った

**as** You should find a friend [**as** will benefit you]<sup>A</sup>.  
**友人**を見つけるべきです 自分のためになるような

Finally I got a chance to talk with the teacher, **as** was expected. 先行詞は節  
ついに 私は機会を得ました その先生と話す 期待されたように

文脈終わり

## 2. 形容詞節を導く関係副詞

when, where には非制限用法もあります。

「鹿児島に住み続けたい」 文脈開始

- when      1950 is the year [(when) I was born]<sup>A</sup>.  
1950 年は年です      私が生まれた
- My brother was born in 1945, when World War II ended.  
私の兄は 1945 年に生まれました      その年に第二次大戦が終わりました
- where      This is the house [where we were born]<sup>A</sup>.  
これは家です      私達が生まれた
- We like Kagoshima, where we have lived more than 60 years.  
私達は鹿児島が好きです      そこに 60 年以上間住んでいます
- why      This is the reason [(why) we refused to move to Tokyo]<sup>A</sup>.  
これが理由です      私達が東京に移るのを拒否した



文脈終わり

- where は、先行詞が place, somewhere, anywhere, nowhere の場合のみ省略可能です。
- how に形容詞節を導かせて the way [how he solved the problem]<sup>A</sup> のように用いた形は、現代英語では死語となっています。  
the way のみ (the way that あるいは the way in which の省略形と言える),  
あるいは how のみ (4. 名詞節を導く関係副詞) を使います。

## 3. 名詞節を導く関係代名詞

関係代名詞が先行詞を含む場合は、名詞節を導きます。

「変わってしまった彼女」 文脈開始

- what      This is (what I want to say).      what は say の目的語  
これが      私が言いたいことです
- who      She is not (who she used to be).      who は be の補語  
彼女は      ではない      昔の彼女がそうであった人 (昔の彼女ではない)
- whoever      She would often say, "I welcome (whoever comes)".  
彼女はよく言ったものです      私は歓迎する      来る人はだれでも

- whichever      When we had cakes, she said I might take (whichever I liked).  
私達がケーキを食べる時 彼女は言いました      どれでも好きなものを  
私は取っていいと



- whatever      I am ready to do (whatever I can do) to change her.  
私はしたい      なんでもできることを 彼女を変えるために

文脈終わり

#### 4. 名詞節を導く関係副詞

関係副詞が先行詞を含む場合は、名詞節を導きます。

「子供の頃の野球」 文脈開始

- when      It makes me think of (when I was a child).  
それは思い出させます      私が子供だった頃を

- Saturday afternoon was (when all the children got together).  
土曜の午後は      すべての子供が集まる時でした

- where      This is (where we played baseball).  
これは      私たちが野球をした場所です



- why      That is (why I visit this place often).  
それが      私がしばしばこの場所を訪れる理由です

- how      I can vividly remember (how we played baseball here).  
私は生き生きと思い出せます      私達がここで野球をした様子(方法)を

文脈終わり